

2. 第12期の活動計画

- a. 農業女子リアル大調査の概要
- b. プロジェクト推進体制の見直し・強化について

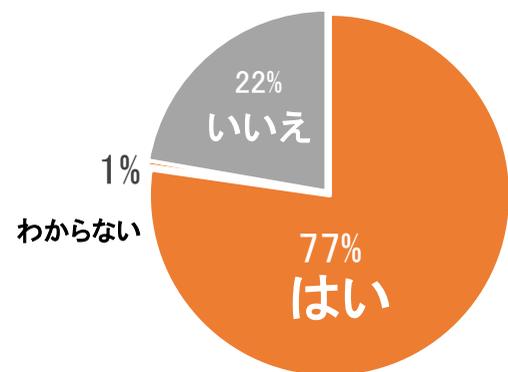
第12期の活動計画

- c. 人材育成機能の強化
- d. 地域活動の活性化
- e. 「農」の魅力発信

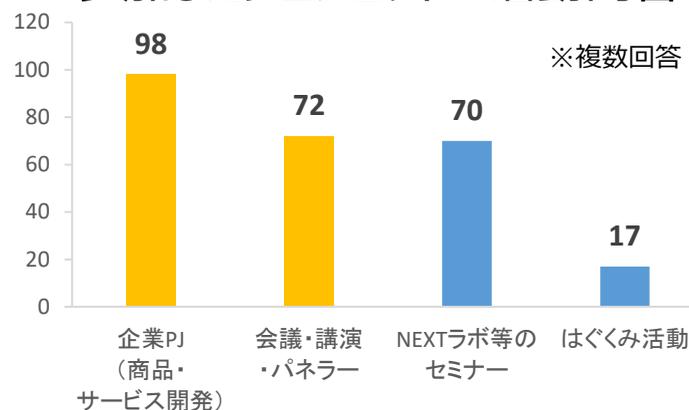
農業女子リアル大調査の概要（プロジェクトの成果）

- ◆ これまでの成果と農業女子メンバーの意向を把握するため、農業女子メンバーにアンケート調査「農業女子リアル大調査」を実施（回答数229名）
- ◆ プロジェクトに対する満足度は総じて高く、特に全国の農業女子メンバーとの交流・情報交換に高い満足度
- ◆ 更に、自身の経営発展や、家族・地域の中での女性農業者の認知・活動への理解促進につながっているとの声もあり、プロジェクトの目的に沿った効果

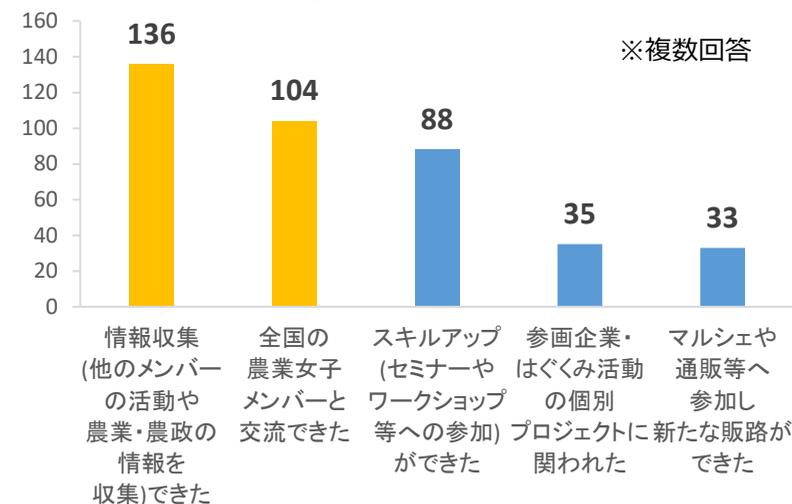
■ プロジェクトの満足度



■ 参加したプロジェクトの活動内容

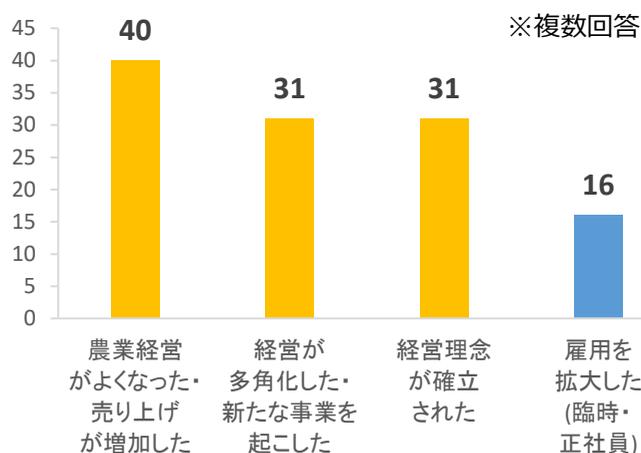


■ 活動への満足理由

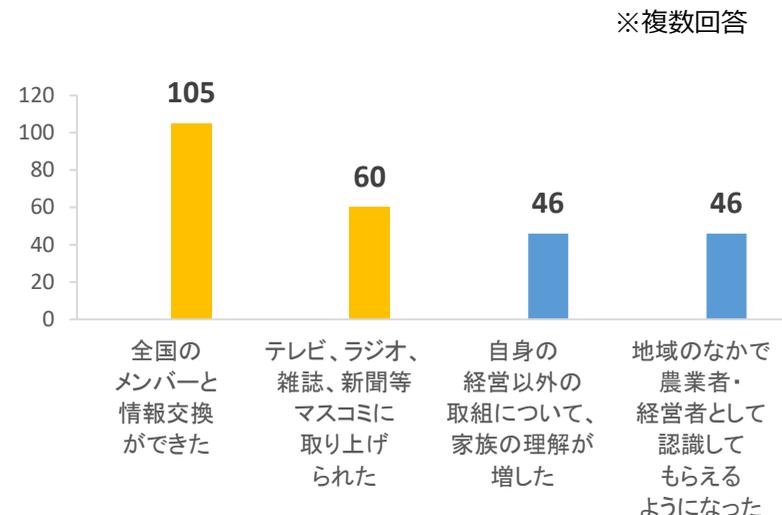


■ 活動参加によるメンバーの変化

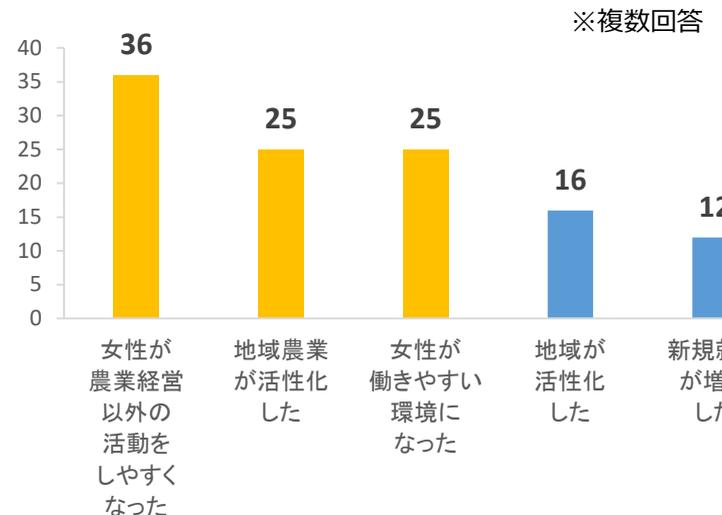
【自身の変化（経営面）】



【自身の変化（経営面以外）】



【周囲の変化】

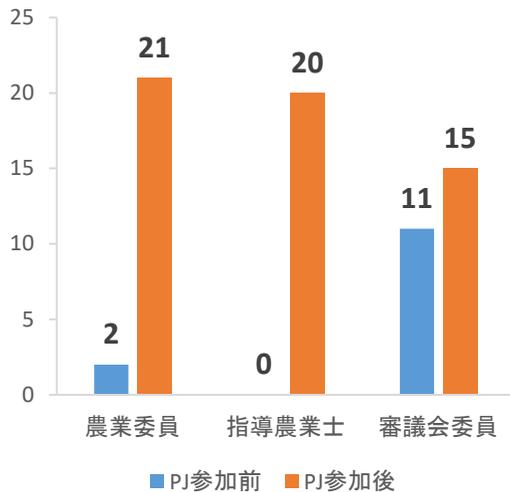


農業女子リアル大調査の概要（プロジェクトの成果2）

- ◆ プロジェクト参加後に、認定農業者や農業委員・指導農業者になられた農業女子メンバーも多く、地域農業の発展のために活躍。更に商工会加入で異分野との交流・勉強も
- ◆ 家族・パートナーからも、農業女子メンバーや地域の変化を実感するとの声

■ PJ参加前後のメンバーの様子

【外部役員の経験の有無】 ※複数回答

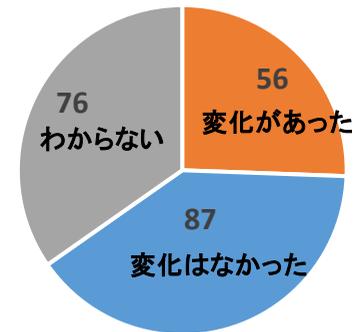


■ 家族・パートナーから見たメンバーの姿

【メンバーとしてPJに参加して良かったか】

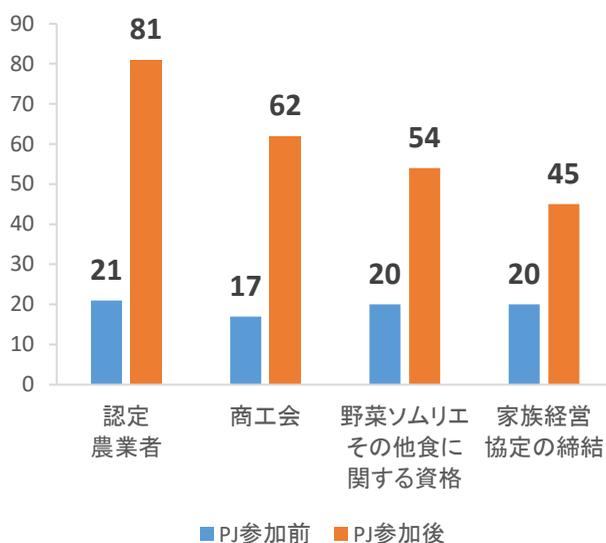


【PJに参加するメンバー自身の変化】

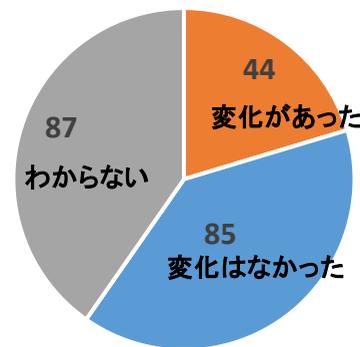


- ・他の農業者や関係機関の方とご縁ができた
- ・**経営に関わり始めた**

【属性・資格の有無】 ※複数回答



【メンバーがPJに参加したことによる
家族・パートナーの変化】



- ・農業の可能性を感じた
- ・**妻の発言や行動を受け入れられる**ようになった

【メンバーがPJに参加したことで
地域の変化は感じるか】



- ・「農業女子」の知名度が上がった
- ・地域の新しい特産品ができた
- ・**農業者として扱ってもらえる**ようになった

農業女子リアル大調査の概要（PJに求めるもの）

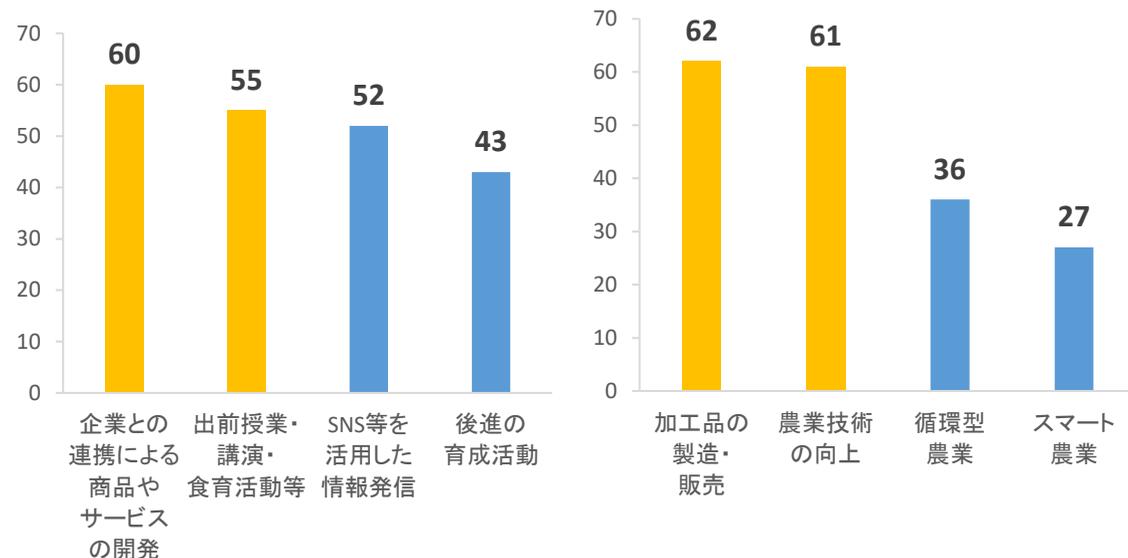
- ◆ スキルアップのための取組、企業との連携や販売力の強化に取り組みたい意向
- ◆ メンター活動や後進の育成活動に取り組みたい農業女子メンバーも存在、農業を未来に繋ぐ意識
- ◆ 地元企業や教育機関と連携し、地域を活かした商品開発へのニーズが高い

回答数：229名

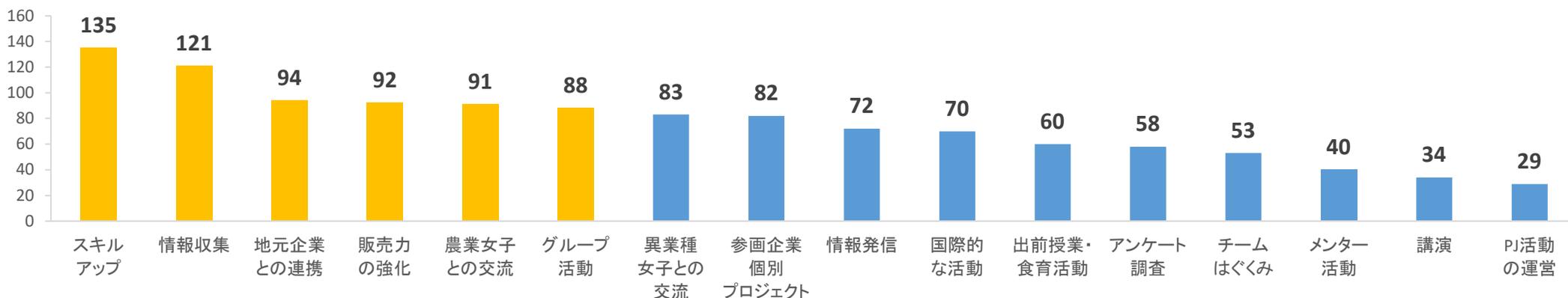
■ 将来（3年後）に取り組みたいこと

【自身の農業経営以外】

【その他】



■ 農業女子プロジェクトで取り組みたいこと



■ 自由記述

○自身の経験を活かして、企業や教育機関と取り組みたいこと

- ・女性でも使いやすい、農業機械、作業着、便利グッズの開発
- ・食に関する企業との食育活動
- ・学生と連携し、農業体験とあわせた商品開発
- ・フードロス対策を目的とした商品開発（B級品活用等）
- ・地域特産品の開発による地域活性化

○新たに参画してほしい業界、企業

- ・物価高に対応した規格外野菜を活用できる企業
- ・健康食や美容分野、化粧品会社
- ・ドローンメーカーなどスマート農業関連企業
- ・再エネ関連やアグリテック企業
- ・新規分野開拓に意欲的なベンチャー企業
- ・農業系観光商品の開発ができる旅行会社
- ・企業ワーケーションの受け入れ通信会社との連携

◆ プロジェクト推進体制の見直しによるプロジェクト活動の活性化

ポイント

○ 就農に向けた研修中の女性を「プレメンバー」として追加

○ 部活・サークル等を「はぐくみ部」として追加

○ 地域でプロジェクトに取り組む企業・団体等も「パートナー」として追加

現行

	農業女子メンバー	参画企業	はぐくみ校	サポーターズ
概要	農業を職業とする女性	農業女子メンバーとプロジェクトに取り組む企業・団体・教育機関等 企業・団体等：参画企業 / 教育機関：はぐくみ校		個人のネットワークにより農業女子PJを応援してくれる方



改正案

	農業女子プロジェクトメンバー		パートナーズ ※1、3			サポーターズ ※3
	農業女子メンバー	農業女子プレメンバー ※3	パートナー	はぐくみ隊 ※3		
				はぐくみ校	はぐくみ部	
概要	農業を職業とする女性	農大や研修機関で研修中の就農を希望する女性	農業女子メンバーとプロジェクトに取り組む企業・団体等 ※2	農業女子メンバーとコラボした活動を行う教育機関	農業女子メンバーとコラボした活動を行う部活・サークル等	個人のネットワークにより農業女子PJを応援してくれる方

※1 パートナーズ会議を開催し、情報交換やマッチングを実施。

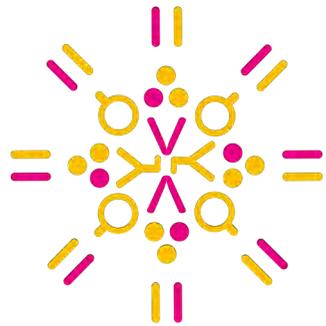
※2 同業種の企業又は団体が個別プロジェクトを実施する場合には、実施の時期、地域(設定する場合)及び参加する農業女子メンバーが重複しないよう事務局と調整の上実施。実施計画書様式を簡素化。地域で活動するパートナーズの運営や管理を地方農政局等に委託可能。

※3 現在のロゴに加え、農業女子プレメンバー、パートナー、はぐくみ隊、サポーターズの独自ロゴを作成。

第12期の活動計画 ～独自ロゴ案～

◆ 既存のロゴに所属を追記し、独自の新ロゴ案を作成

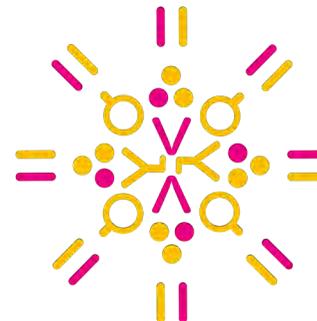
プレメンバーロゴ案



農業女子PJ
Pre Member

農業女子PJ  Pre Member

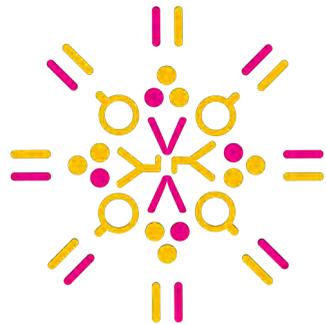
パートナーロゴ案



農業女子PJ
Partner

農業女子PJ  Partner

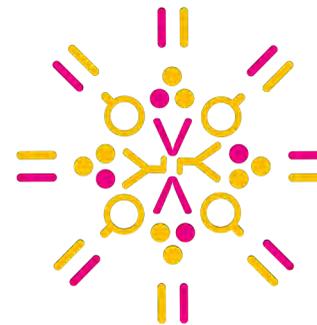
サポーターズロゴ案



農業女子PJ
Supporters

農業女子PJ  Supporters

はぐくみロゴ案



農業女子PJ
はぐくみ

農業女子PJ  はぐくみ

3つの活動計画

1. 人材育成機能の強化

- ・「NEXTラボ」の深化

 - 新規層：引き続きNEXTラボの受講を推進する。

 - 中間層：アンバサダーとしての参加を通じ企画力・ファシリテーション力の強化を図る。

 - 発展層：経験を後輩に伝える講義機会を設定。分野ごとに学びたい人と教えたい人をマッチングし、実践への一歩につなげていく取組を開始する。

- ・ 農業女子プロジェクトメンバーの自主的取組の拡大

2. パートナーズとの連携プロジェクトの活性化

- ・ パートナーズ会議の実施

 - パートナーズ間の情報交換、コラボレーションの創出促進の場を設定する。

- ・ 地方農政局等と連携した地域活動の取組支援の強化

3. 「農」の魅力の発信

- ・ 「農業女子プレメンバー」を位置づけ、農業女子メンバーとの交流を促進

- ・ 「はぐくみ部」の登録を促進し、活動を拡大

- ・ 農業女子の「輪」プロジェクトの開始

 - 農業女子メンバーが自身の取組を農業女子プロジェクト公式インスタグラムで定期的に発信。投稿者が次の発信者を指名し、メンバーの「輪」を繋げる活動を実施する。



事務局・地方農政局が連携して取組を推進

<改正点>

■ 農業女子プロジェクト規約

- ・農業大学校や就農に係る研修機関で研修中の女性を「農業女子プレメンバー」に位置づける。
- ・参画企業をパートナーに改め、同業種の企業・団体等が個別プロジェクトを実施する場合の条件を規定。
- ・参画企業や大学、高校などの教育機関を合わせ、パートナーズに改める。
- ・パートナーズの登録取消規定、取組実績報告の規定を追加。
- ・基本計画書の様式を改め、記載内容を簡素化。

■ 未来の農業女子育成チーム“はぐくみ”実施要領

- ・教育機関における部活やサークル等を「はぐくみ部」として位置づける。

■ 農業女子プロジェクトメンバー募集要領

- ・農業女子プレメンバーの募集規定を追記し、農業女子プロジェクトメンバーの活動範囲を規定。

■ 「農業女子プロジェクト」統一ロゴマーク利用に関する規定

- ・新たにプレメンバー、パートナー、はぐくみ隊、サポーターズのロゴマークを作成。

■ 農業女子プロジェクトサポーターズ運営要領

- ・サポーターズの活動の把握及び管理に関する規定を削除。

3. ご紹介

- a. 新規参加企業、教育機関
- b. 会場出席メンバー

新規参画企業のご紹介

- ◆ 今期から1社、2校が参画企業として新規参画
- ◆ 皆さん、既に活動を始められていらっしゃいますが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします！

会社名	株式会社羽田未来総合研究所	
事業内容	羽田空港 和蔵場「生産者直送マルシェ」プロジェクト	
プロジェクト内容	当社が運営する地方創生を軸にした店舗「和蔵場」にて、羽田空港を利用する国内外のお客様へ向けて、「生産者直送マルシェ」と題し、農業女子プロジェクトの活動PR、及び物販販売を実施する。	
会社名	佐賀大学	
事業内容	「カチカチ農楽が〜る」の活動に学ぶ佐賀大生の将来キャリア支援	
プロジェクト内容	さが農業女子カチカチ農楽が〜るのメンバーによる学生への講義やインターンシップの受け入れ、マルシェのコラボ企画など、協働した活動を行い、佐賀大学農学部生が将来の就農に対する明確なビジョンをもつこと。	
会社名	宮城大学	
事業内容	宮城大学チアーズ農園運営学生パワーアッププロジェクト	
プロジェクト内容	学生に対し、参画企業や農業女子メンバーと連携したセミナーや農場訪問を実施。小中学生への食農教育の実践を通じて、学生自身の農業のイメージを具体化させる。	

プロモーションラボ アンバサダー



垣淵 浩子

- ◆垣淵農園
- ◆和歌山県
- ◆南高梅
- ◆2014年入会



西岡 さち子

- ◆いちご農家 西岡産業
- ◆徳島県
- ◆いちご
- ◆2014年入会



瀬川 知香

- ◆Sweet×Sweet
- ◆鹿児島県
- ◆スイートコーン・ヤングコーン・ポップコーン
- ◆2020年入会



高村 瑞穂 (欠席)

- ◆みらいファームラボ
株式会社小栗山農園
- ◆青森県
- ◆りんご
- ◆2022年入会



清水 加奈 (欠席)

- ◆有限会社
マルシゲ清水製茶
- ◆三重県
- ◆かぶせ茶 (刈取り前に黒い布をかけて甘みを出す)
- ◆2014年入会

マネジメントラボ アンバサダー



川村 靖恵

- ◆川村とまと園
- ◆千葉県
- ◆フルーツマト
- ◆2023年入会



山田 靖子

- ◆くろぜむ農園
- ◆神奈川県
- ◆大根、キャベツ、メロン、トマト
- ◆2017年入会



岡本 尚子

- ◆おかもと農園
- ◆愛知県
- ◆米・次郎柿・野菜
- ◆2016年入会



永井 千春

- ◆Vege TanaQ
(株式会社 棚久)
- ◆愛知県
- ◆ニンジン(へきなん美人R・碧南鮮紅・えらべるにんじんちゃん)・たまねぎ・季節の野菜
- ◆2014年入会

ヘルスラボ アンバサダー



榎本 房枝

- ◆さいたま 榎本農園
- ◆埼玉県
- ◆カラフルミニトマト・野菜全般
(年間100種類ほど)
- ◆2014年入会



石橋 正枝

- ◆ファームいしばし
- ◆千葉県
- ◆ねぎ・うり
- ◆2018年入会



佐藤 文香

- ◆さっちゃんファーム
- ◆愛知県
- ◆トマト・ナス・ブロッコリー等
- ◆2021年入会



藤木 悦子

- ◆藤木農園
- ◆兵庫県
- ◆野菜(トマト、メロン)・米・パレイショ・スイートコーン・大根・白菜等露地野菜・野菜苗等
- ◆2013年入会

4. 意見交換会

◆ 意見交換

- 第12期において挑戦したいことはありますか？
- 今回の推進体制の強化により、今後どのようなことに取り組みたいですか？

フリーディスカッション

2024.12.6

- ✓「農業女子メンバー懇談会」は農業女子メンバー同士の交流を目的にZoomブレイクアウトルームを活用して実施します
- ✓ 時間
16時40分 まで
- ✓ 感想発表
代表の方からグループごとに感想をお話いただきます
- ✓ トークテーマ：企業とコラボしたいこと